

船舶事故等調査報告書

平成27年9月17日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2015横第40号
事故等種類	火災
発生日時	平成27年3月25日 13時05分ごろ
発生場所	千葉県船橋市船橋中央ふ頭北岸壁 千葉港葛南市川灯台から真方位075° 4.18km 付近 (概位 北緯35° 40.60' 東経139° 58.70')
事故等調査の経過	平成27年3月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 トータイ マル (カンボジア王国籍)、1,495トン 9005637 (IMO番号)、DALIAN HEYANG SHIPPING AGENCY CO., LTD.
乗組員等に関する情報	船長（中華人民共和国籍）、免状不詳
死傷者等	なし
損傷	左舷船側外板中央部に湾曲、右舷船側外板中央部の塗装に焼損及び船倉ハッチカバーにゆがみ
事故等の経過	本船は、船長ほか9人（中華人民共和国籍7人、ベトナム社会主義共和国籍1人、バングラデシュ人民共和国籍1人）が乗り組み、船橋中央ふ頭北岸壁において、左舷着けで荷役作業中、平成27年3月25日13時05分ごろ、船倉中央部付近のスクラップから煙が噴出し、約2時間後に出火した。 本船は、消防車、巡視艇、消防艇及び本船の消火ホースによる注水作業の結果、20時20分ごろ鎮火した。 本船は、船倉内の積荷及び船底に溜まったビルジが全て陸揚げされ、船級協会等の検査後、ハッチカバーが修理され、4月9日、空倉で中華人民共和国の造船所へ向かった。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	本船は、日本で建造された船舶を改造した船齢約25年の船尾船橋型の鋼船であり、船倉が船首部から船橋前部まで続いていた。 本船は、スクラップから煙が噴出した時、スクラップが、船倉内に約700t積み込まれており、陸上に約200t残っていた。 積み込まれたスクラップには、金属類、電化製品、バッテリー、プラスチック、電気配線等が混在しており、油脂類の付着物も多く見られた。

<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし あり なし</p> <p>本船は、船橋中央ふ頭北岸壁において荷役作業中、積荷のスクラップが発火して可燃物に延焼したことから、火災が発生したものと考えられる。</p> <p>スクラップは、金属類の摩擦熱等で油脂類が発火し、周囲の可燃物に延焼した可能性があると考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、船橋中央ふ頭北岸壁において荷役作業中、積荷のスクラップが発火して可燃物に延焼したため、発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクラップは、可燃物を分別し、可能な限り除去することが望ましい。